

特集

奈良らしく、果敢にチャレンジ！

平成27年度県予算

平成27年度の県の予算が決まりました。奈良をより元気にするため、県が持つ資源をフルに活用し、各分野の政策課題に果敢に取り組みます。



奈良県外国人観光客交流館（イメージ）



下市木工舎 市ichi



奈良県健康ステーション



京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺

主な取り組みとしては…

文化・芸術への参加機会の充実



奈良県大芸術祭 オープニングイベント

結婚・子育てをみんなで支える社会づくり



乳幼児と保護者が集える地域子育て支援拠点 地域子育て支援センター「そらいろ」（奈良市）

少子化女性

文化スポーツ教育

「なら食と農の魅力創造国際大学校」の開校



なら食と農の魅力創造国際大学校 実践ハンケット（イメージ）

産しごと観光農

国土強靱化まちづくり 景観彩り

多様な再生可能エネルギー等の普及拡大



飛鳥EVレンタルサービス（明日香村）

奈良県総合医療センター移転後の跡地を活用したまちづくり



奈良県総合医療センター跡地周辺まちづくり（アイデアコンペ最優秀作品）

健康長寿地域医療ビジョン 障害者

独自の地方創生を目指します
県では、人口減少克服・地方創生の実現に向けた国の施策推進の動きとつまくマッチングさせながら、次の5つの分野で積極的に取り組みを進め、本県独自の地方創生を目指します。

指標からみる奈良県のすがた

観光・文化

●外国人宿泊者数(延べ)

3.5万人 16.5万人
 全国38位 [平成23年] 全国23位 (1位は東京都983万人) [平成25年]



平成25年は23年に比べて約4.7倍となり、全国順位も年々上昇しています。
観光庁 宿泊旅行統計調査

●宿泊施設の客室数

8,857室 9,055室
 全国47位 [平成18年] 全国47位 (1位は東京都142,065室) [平成25年]



客室数は増加していますが、全国順位はまだ低い水準となっています。
厚生労働省 衛生行政報告例

●宿泊者数(延べ)

203万人 248万人
 全国46位 [平成23年] 全国46位 (1位は東京都5,282万人) [平成25年]



延べ宿泊者数は着実に増加してきています。
観光庁 宿泊旅行統計調査

●ムジークフェストなら来場者数

6.2万人 8.3万人
 [平成25年] [平成26年]



県内で質の高い音楽イベントを開催し、地域でのにぎわいを創出しています。

産業・消費

●企業立地件数(研究所含む)

12件 25件
 全国39位 [平成17年] 全国31位 (1位は茨城県147件) [平成25年]



引き続き積極的な誘致活動を行い、着実に立地を進めています。
経済産業省 工場立地動向調査

●1世帯あたりの1か月の消費支出額

32万4,643円 32万7,550円
 全国16位 [平成16年] 全国3位 (1位は富山県344,212円) [平成21年]



消費支出額は高く、平成21年の調査では全国3位です。
総務省 全国消費実態調査

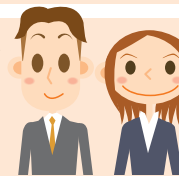
●県内就業者比率

70.7% 70.1%
 全国47位 [平成17年] 全国47位 (1位は沖縄県0.18%) [平成22年]

全国最下位が続いているものの、埼玉県、神奈川県、千葉県(全国44位~46位)との差は縮まってきています。
総務省 国勢調査

●県内大学新卒者の就職内定率

84.1% 89.2%
 [平成24年3月卒] [平成26年3月卒]



平成24年から県内大学新卒者の就職内定率は着実に上昇しています。
奈良労働局調べ

健康・暮らし・スポーツ

●健康寿命(65歳から健康で自立した生活ができる年数)

[男性] [女性]
 16.8年 17.7年 20.0年 20.3年
 全国13位 [平成17年] 全国13位 [平成25年] 全国33位 [平成17年] 全国41位 [平成25年]

男女とも健康寿命は延長しています。

●総合型地域スポーツクラブ育成率

クラブがある(準備中含む)市町村の割合

38.5% 92.3%
 全国47位 [平成21年] 全国12位 (1位は兵庫県他100%) [平成26年]



平成22年度に県スポーツ支援センターを開設し、市町村等への訪問活動を強化した結果上昇しました。
文部科学省 総合型地域スポーツクラブ育成状況調査

●医師・看護師の確保

人口10万人当たり医師数 人口10万人当たり看護職員数
 201.0人 217.9人 875.6人 1,021.8人
 [平成18年] [平成24年] [平成18年] [平成24年]

医師数・看護師数共に着実に増加しています。

●障害者雇用率(50人以上規模の事業所)

1.88% 2.22%
 全国9位 [平成18年] 全国5位 (1位は山口県2.46%) [平成26年]



障害のある人の就労を支援する各機関が密接に連携を実施してきたことで、上昇しています。
厚生労働省 障害者雇用状況の集計結果



奈良県マスコットキャラクター
せんどくん
©NARA pref.

平成27年度 県予算のすがた

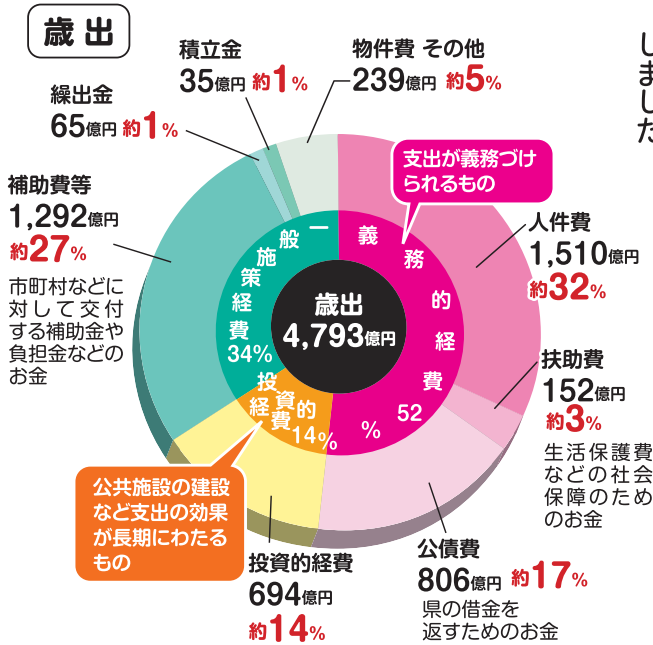
平成27年度当初予算 4,713億円
平成26年度2月補正予算 80億円
計 4,793億円 (対前年度124億円減少)

歳出(出て行くお金)

●義務的経費は、人件費が減少したものの、扶助費等が増加したことにより、10億円の増となりました。

●投資的経費は、紀伊半島大水害で被災した公共土木施設等の復旧がおおむね完了したことなどにより、178億円減少しました。

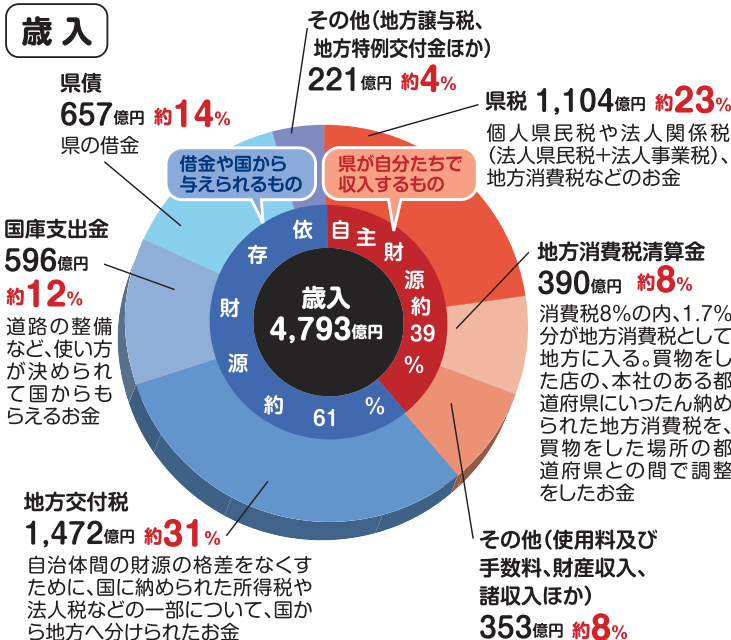
●一般施策経費は、社会保障施策の充実や地方創生に向けた取り組みの推進により、45億円増加しました。



歳入(入ってくるお金)

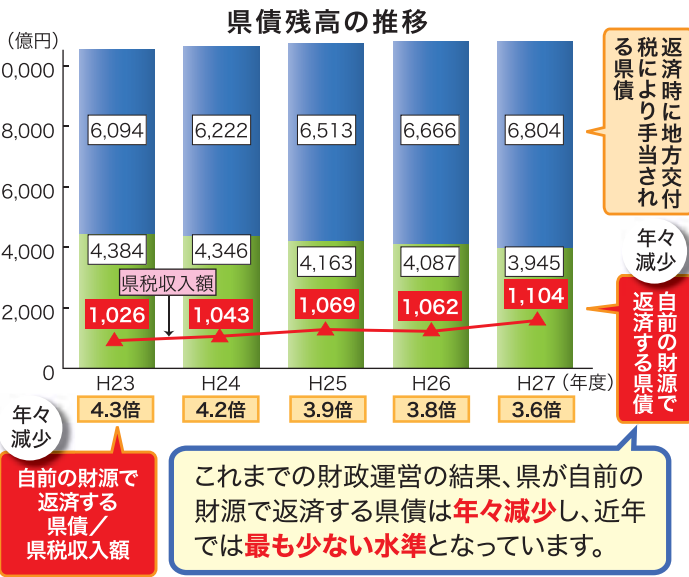
●主な一般財源(県税、地方交付税、臨時財政対策債等の合計)は、122億円増加しました。

●国庫支出金、繰入金、諸収入、県債(臨時財政対策債を除く)の特定財源は減少しました。



県自前の財源で返済する県債は減少

県の借金である県債の残高のうち、交付税措置のない県債を減らし、将来の負担を減らすことを目標としています。



次のページから、主な取り組みについて詳しく紹介します。
※は27年度から新しく予算化された取り組みです。
※カッコ内は百万円未満を四捨五入したおおよその予算額です。

自前の財源で返済する県債/県税収入額

これまでの財政運営の結果、県が自前の財源で返済する県債は年々減少し、近年では最も少ない水準となっています。

①産業の発展やしごと・働く場を創出する取り組み

企業誘致の推進

NEW 京奈和自動車道と西名阪自動車道周辺において工業ゾーン予定地を調査・抽出します。
(2600万円)

消費地としての魅力向上



生活応援せんとくん
プレミアム商品券(H26)

NEW ●奈良県プレミアム商品券を発行します。(10億円)
●奈良県プレミアム宿泊券を発行します。(6億円)



写真提供:西日本高速道路(株)
郡山下つ道ジャンクション周辺

県内就労の促進



無料職業紹介所(しごとセンター)

NEW ●しごとセンターのしごとマッチングアドバイザーによる求人求職のマッチングを推進します。(1900万円)
●首都圏の大学生等に対し、U・I・Jターンによる県内企業への就職を促進します。(1200万円)

意欲ある担い手の育成

●なら食と農の魅力創造国際大学校を整備するとともに、学生募集など平成28年4月の開校に向けた準備を進めます。
(6億1100万円) ※詳しくは11ページで。

多用途に供給する林業への転換

●間伐材の搬出・運搬の支援をA・B・C材すべてに実施します。(3900万円)



なら食と農の魅力創造国際大学校外観(イメージ)

②東京オリンピック・パラリンピックを契機とする国際観光、文化発信、国際交流、スポーツ振興、にぎわいの拠点整備の重点的取り組み

外国人観光客向けの情報発信、交流拠点の整備

●外国人観光客交流館の整備・運営を行います。(平成27年夏に観光案内カウンター、交流サロン、物販スペースを先行オープン)
(3億7000万円)

質の高い文化芸術を活用して、奈良の文化力を向上

●奈良の文化資源活用・創造を推進するための拠点(仮称「奈良県国際芸術家村」)の整備に向けた基本構想を策定します。
(1700万円)

NEW ●平成29年度に奈良県で開催する国民文化祭の準備を行います。(1400万円)

国際交流の促進

●スイス・ベルン州との新たな友好提携や、アジア地域との更なる連携を進めます。
(2900万円)

トップアスリートの育成

NEW ●スポーツ医学の研究機能を有し、本県スポーツの強化支援拠点となる奈良県トレーニングセンターの運営について調査・検討します。(700万円)

奈良観光の魅力向上のため、にぎわいの拠点を整備

●県営プール跡地での賑わいと交流の拠点整備を進めます。(2億5300万円)
●平城宮跡歴史公園の整備等により宮跡の魅力向上に取り組みます。(19億1500万円)



県営プール跡地
国際ブランドホテル(イメージ)



昨年の奈良県大芸術祭のようす



奈良県外国人観光客交流館内観(イメージ)

③ 暮らしやすい奈良を創る取り組み

医療提供体制の充実

●奈良県総合医療センターの移転整備、アクセス道路等の整備を行います。
(54億5900万円)

●県立医科大学附属病院のE病棟整備に
対する支援を行います。
(72億6400万円)



移転整備後の新奈良県総合医療センター
(イメージ)

高齢者・障害者等の支援の充実

●地域包括ケアシステムの構築のため、市町村においてモデル事業を実施します。
(5000万円)

●「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」を制定・推進します。(3000万円)

女性の活躍と社会参画の促進

●女性の活躍促進に向け、県の基本方針と施策の方向性について検討します。(2000万円)



県立医科大学附属病院E病棟(イメージ)

地域の教育力の向上

●「総合教育会議」を開催し、教育施策の基本的な方針、教育条件の整備等について検討します。(3200万円)

美しく風格のあるまちなみを守り、創り、育てる

●「きれいに暮らす奈良県スタイル」を推進します。(1000万円)

防災力の向上

●陸上自衛隊のヘリポートを併設した駐屯地の誘致、アクセス道路の調査を行うとともに、広域防災拠点(防災基地)の整備に向けた基本構想を策定します。(5000万円)



大宮通りの花壇

④ 南部地域・東部地域のさらなる振興に向けた取り組み

交流の促進

●南部・東部地域での特色あるイベント(南部東部地域活性化イベント、小辺路等活用ツアーイベント、**NEW**ロハスヨガin奥大和、**NEW**DOROGAWAロックフェス、**NEW**アートウィークin菟田野等)を開催します。
(2700万円)



小辺路トレイルジャーニー

●南部・東部地域に宿泊された人に対し、対象路線の路線バス運賃をキャッシュバックし、南部・東部地域への宿泊を伴う観光を促進します。
(3000万円) ※詳しくは24ページで。



南部地域を走る路線バス

定住の促進

●市町村等が整備する移住や二地域居住を促進するための拠点施設等のモデルプランを作成するとともに、施設整備を支援します。(4000万円)



移住や二地域居住の拠点施設として整備された東吉野村のシェアオフィス「OFFICE CAMP」

知事から

ひろゆき

奈良県では、統計やアンケート調査などにより、課題を取り巻く現状について分析し、その結果を踏まえた戦略に基づき、施策を推進しています。本県が持つ資源をフルに活用して、各分野の政策課題に果敢に取り組み、奈良県独自の地方創生を目指して参ります。

